

## 旧統一教会側が 有権者名簿提供

木村防衛政務官に

自民党の木村次郎・防衛政務官(衆院青森3区)は8日、昨年の衆院選で世界平和統一家庭連合(旧統一教会)側から有権者名簿を受け取ったと明らかにした。名簿をもとに支持を呼びかける電話をかけた可能性も

あるという。参院外交防衛委員会で、立憲民主党の小西洋之氏の質問に答えた。

木村氏によると、昨年10月の衆院選に際し、自身の支持者を介して教団側から名簿提供の申し出があり、

木村氏と秘書が同月18日に地元の教団施設を訪れ、名簿を受け取った。名簿は衆院選後に破棄した可能性が高く、事務所にも記録が残っていないが、「名簿には旧統一教会関係者が含まれていたと思われる。他の名簿と同様に、当該名簿を用いて電話かけなどを行った可能性も否定できない」という。木村氏の記憶や事務所での再点検の結果として説明した。木村氏は「真摯に反省し、以降は旧統一教会及び関連団体との関係を持たないとの方針に沿って適切に対応する」と述べた。

## 教団関係者から 依頼受け報告会

山田外務副大臣

自民党の山田賢司・外務副大臣(衆院兵庫7区)は

8日、2017年と21年の2回、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の関係者から依頼を受け、地元の兵庫県西宮市の集会所などで国政報告会を開いたと明らかにした。参院外交防衛委員会で立憲民主党の小西洋之氏の質問に答えた。山田氏はまた、地元の西宮市にある教団関連施設に2回行ったとする1日の同委員会の答弁について、実際には17年10月は市民会館の会議室、21年9月は集会所を訪れていたと訂正。「曖昧な記憶に基づいて答弁したことをおわび申し上げたい」と述べた。